

将来像を実現するための 取組を考える（２）

議題 3

目次

- 1 今回の意見交換の位置付け 2
- 2 今回の意見交換のテーマ 5

1 今回の意見交換の位置付け

第1章 計画の基本的事項

主な内容 計画策定の背景と目的 計画の位置付けと計画期間 対象区域

第2章 富士市の概況

主な内容 緑を取り巻く状況 現計画の検証 市民の意識 課題と策定の視点

第3章 緑の将来像と目標

主な内容 将来像 目標 施策の柱 緑の配置方針と将来構造

第4章 施策

主な内容 施策の構成 施策（施策の内容、取組の方向性、進行管理指標など）

第5章 計画の推進に向けて

主な内容 推進体制 進捗管理

1 今回の意見交換の位置付け

将来像（案）

みんなではぐくみ、つなぐ 富士山と緑の輝くまち

目標

目標 1

富士山を望むまちの緑を
つなぐ

目標 2

市民が主体となって
まちの魅力を高める緑をはぐくむ

今回の対象

緑をまもり
つなぐ

豊かな自然を擁し、富士山を望む
景観、災害に強いまちづくりを支
える富士山麓の骨格的な自然環境、
森林、市街地や水辺、沿岸部など
のまとまった緑地とそのネット
ワークを維持、継承していく。

緑をいかす

公園、公共空間、まちなかを花や
緑にあふれる場にし、緑を健全に
育て、活かしていくことで、暮ら
しやすく、魅力あるまちづくり
につなげていく。

みんな
ではぐくむ

市民や事業者が担い手として緑化活動
や身近な公園の管理・活用に携わり、
花や緑の彩りにあふれ、一人ひとりが
ウェルビーイングを実感できるまちを
実現していく。

1 今回の意見交換の位置付け

第1回市民懇話会の 意見

**十分な手入れ・管理が
できていない緑
が増えている**

庭木、寺社の大木、
工場の緑地帯、公園、
道路、山林、農地など

第2回市民懇話会の主な意見 (緑の管理、公園について)

緑の適切な維持管理

今ある緑は維持しながら
増やしていく

中木、低木で緑を豊かにしていく

ヒト・モノ・カネ の確保

公園

利用者が多いところに絞って
公園を活用する

開発に伴って整備される
小規模公園もつたいない

公園整備×バラ
維持コストを考えて。

課題

緑をまもりつなぐ
担い手を
どのように広げていくか？

公園をどのように
活用、活性化
していくか？

2 今回の意見交換のテーマ

緑をまもりつなぐ
担い手を
どのように広げていくか？

テーマ1

緑をまもりつなぐ
担い手づくり

公園をどのように
活用、活性化していくか？

テーマ2

公園で
してみたいこと

テーマ1

緑をまもりつなぐ 担い手づくり

- 管理が行き届かない緑が増えた背景の一つに、担い手の不足、高齢化があります。

担い手を増やしていくために、市民や企業に
どんなことができると思いますか？

例えば・・・「●●企業の森」のように管理を支援するパートナーになる

手入れができていない緑と、手入れしたい市民や企業を
マッチング（縁組）する など

【参考 1】 富士市内で行われている市民や企業の取組

松野地区の里山保全 「こぶしの会」

- ・豊かな自然環境を地域活性化に活かそうと、平成7（1995）年に団体を設立
- ・荒れた里山を復元するために荒れ地を開墾、間伐して、自然に楽しめる場所を設置
- ・近年、活動拠点を近隣の棚田跡地に変え、里山の育成・保全と関連したイベントや、草刈りと間伐の活動を続けている



（出典）公益社団法人「小さな親切」運動静岡県本部ホームページ

生物多様性ふじサポーター登録制度

- ・富士市の豊かな生物多様性を将来にわたって維持していくため、富士市が創設した制度
- ・日々の生活の中で、自主的に生物多様性保全活動の実践や情報発信を行うとともに、市が実施する生物多様性保全に関する取組へ参加・協力をいただける方を生物多様性ふじサポーターとして登録
- ・市内在住・在勤者、法人等で、生物多様性保全活動に取り組んだ実績があり、市が実施する取組に参加・協力できる方が登録できる
- ・個人91名、法人7件の登録がある

トノサマガエル放流事業



自然観察会のような



オタマジャクシの放流活動

【参考2】市民や企業と協働する緑の管理の取組例

森林レンタルサービス「フォレンタ」 (株式会社シシガミカンパニー)

- ・ レンタル形式で森林空間を一般市民に開放する事業
- ・ 山村の未来のために、森林が多くの人に活用され、経済の循環に取り込まれることが必要であるとの考えから企画、事業化された
- ・ 森林所有者にとっては、森林から安定的な収入を得ることによって、森林経営へのモチベーションの向上と森林整備の資金調達を実現し、持続可能な森林経営を可能としている
- ・ 借り手である市民は、1年契約で区画をレンタルでき、好きな時にキャンプができるほか、地上にある自然物（草木、キノコ、果実、水など）を自由に利用できる（商用利用は不可）



(出典) 株式会社シシガミカンパニーホームページ

「カシニワ制度」 (千葉県柏市)

- ・ カシニワは、「かしわ（柏）の庭」と「かす（貸す）庭」をかけ合わせた造語
- ・ 身近にある空き地を、地域の人々が手を加え、みんなが使える「地域の庭」にすることで、柏の緑を守っていこう・増やしていこうと、平成22（2010）年に創設
- ・ 空き地を地域資源として活用する「カシニワ・おにわ」と、空き家や空き店舗等を活用する「カシニワ・おうち」の2つの仕組みが運用されている
- ・ 「カシニワ・おにわ」には、活動内容によって「花園型」「樹林型」「農園型」「広場型」「公共型」の活動がある

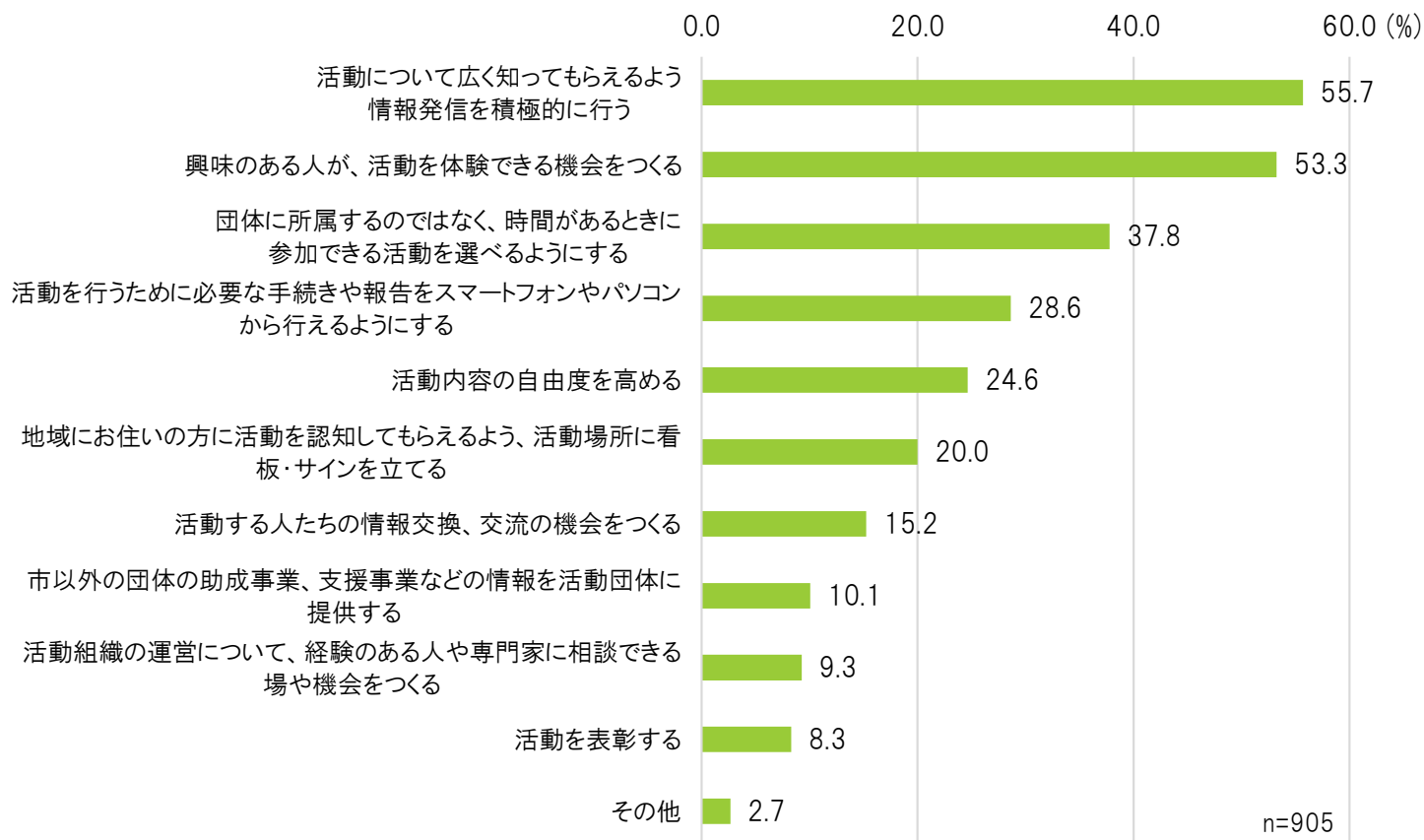


空き地を活用したキャンプ（広場型の活動）

【参考3】緑化活動への参加に関する市民意識（R6年度調査結果）

地域の緑化活動を将来にわたり受け継いでいくために必要なこと

- 「活動について広く知ってもらう情報発信」、「興味のある人が、活動を体験できる機会創出」を選んだ回答者が多い。



地域の緑化活動に参加しない理由

- 「活動に関する情報がないこと」が最も多く、まず活動を知ってもらうことが重要。



テーマ2

公園ですてしてみたいこと

- あなたご自身、または家族、仲間といっしょに、公園でどんなことをしてみたいと思いますか？

(禁止事項は気にせず、「こんなことができたらいいな」ということを自由な発想で述べてください)

例えば・・・アートの展示をしてみたい

緑の中で、子どもに絵本の読み聞かせをしたい

ヨガをしてみたい

など

【参考4】富士市で行われている公園の活用例

カフェの設置 (中央公園)



(出典) 運営受託事業者資料より

キッチンカーの社会実験 (中央公園)

都市公園利用者の利便性や魅力の向上、公園利活用向上に繋がる取組みの社会実験として、公園のオープンスペースを活用したキッチンカー出店者を募集
(実施：令和7年4月～令和8年3月)

冒険遊び場 たごっこパーク (島田公園)

NPO法人ゆめ・まち・ねっとが、隔週土・日に、冒険遊び場（※）を開催

※子どもは遊ぶことで自ら育つという認識のもと、子どもと地域と共につくり続けていく、屋外の遊び場



(出典) NPO法人ゆめ・まち・ねっとホームページ

【参考5】 様々な主体による公園の活用例

あおぞら図書館 紙芝居の読み聞かせ
(世田谷公園／主催：三宿四二〇商店会)



(出典) 三宿四二〇商店会 ホームページ

防災キャンプ
(遠州灘海浜公園／主催：浜松公園緑地協会)



(出典) 浜松公園緑地協会 ホームページ

プレーリヤカー (板橋区赤塚公園／主催：大東文化大学教育学科学生)



(出典) 大東文化大学 ホームページ

マルシェ、アコースティックライブなど
(水前寺江津湖公園／主催：くまもと江津湖魅力化推進協議会)



(出典) 熊本市 ホームページ

アートパーク
(松戸中央公園／主催：聖徳大学児童文化研究所ほか)



(出典) 松戸市 ホームページ

地域の子どもと保護者たちがゆるやかに集まり公園を活用する「公園にいこえん」 (萩の台第2公園／主催：地域住民)



(出典) 生駒市 ホームページ